

News Release

2020年3月23日

株式会社エジソンパワー
代表取締役社長 山田 敏雅

地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業を 山形県鶴岡市、株式会社渡会電気土木の田代工場に完成納品

株式会社エジソンパワーは、山形県鶴岡市の株式会社渡会電気土木の田代工場に太陽光発電設備（合計 234kW）と蓄電池システム（合計 135kW）を設置、平常時には電気料金とCO₂削減し災害時には非常用電源を供給する自立運転型システムを完成納品致しました。

このシステムにより、平常時においては太陽光発電設備により発電した電力を同工場で使用する電力の一部として自家消費し、電力量で年間約 170,000kWh、温室効果ガスで年間約 100t-CO₂ の削減抑制に貢献します。

この事業は、環境省が推進する地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業に株式会社渡会電気土木が申請したもので、同社は鶴岡市及び鶴岡地区自治会との間で、災害発生時又は災害が発生する恐れがある場合に、田代工場の設備の一部を一時避難所として開放する防災協定 2020年1月10日に締結致しました。同工場は一時避難所として避難者に対して、照明および冷暖房、給水、携帯電話等の充電、テレビ及びラジオによる情報提供等を行うことを想定しています。

当社は、地球温暖化が進み、各地で想定外の災害が発生する中、国が進める国土強靱化計画の一助として、コア技術の一つである産業用大型蓄電システムに磨きをかけ、企業から公共施設までの大容量・低価格化する自家消費ニーズに対応して参ります。

●システムの主な特長

- 1) 蓄電池システムは、太陽光による発電電力を充電し、系統負荷の電気使用量に応じてパソコンの出力を抑制、余った電気を蓄電し、夜間や非常時に活用します。更に、遠隔監視により、発電状況の把握や蓄電池の残量、不具合をパソコンで確認し、敏速な状況掌握と安定稼働を可能にしています。
- 2) 災害時には非常電源に太陽光発電システムからの電力を活用して継続的な防災システムを構築。
- 3) 設備の設置に当たっては補助事業として求められる耐震 S クラスを実現。

渡会電気土木の田代工場全景
(2020年2月28日撮影)



蓄電池ユニット&制御装置
(株エジソンパワー製)



● システム構成図

